



2012-2013年度 R.I. テーマ



「カラー」 写真提供：長田 達明 会員

Peace through Service

奉仕を通じて平和を

- ◆ 会長 横谷 正晴 ◆ 幹事 清河 豊
- ◆ 発行 会報委員会 7月担当 長田

第2177回例会 7月17日(火)

- ◆ 点 鐘 横谷 正晴 会長
- ◆ 司 会 清河 豊 幹事
- ◆ ロータリーソング 「我等の生業」

☺☺ ハッピーバースデー ☺☺



7月28日
扇 谷 君



7月29日
加納さん

・ 7月22日 森 夫人

◆ 会長挨拶

皆さん、こんにちは。

先週の例会終了後、清河幹事と西睦会にご挨拶に行っ
てまいりました。本当に和やかな雰囲気、45周年の旅
行も快く了解いただきましたので、来年に向けて親睦委
員会とも相談しながら計画したいと思っています。

さて、昨日魚津で36.9度と日本で2番目の暑さとなり
ました。

かたや九州では記録的な豪雨で相当な被害がでていま
す。

北陸は梅雨の時期なのにあまり雨が降らないし、九州
地方では豪雨とこの異常気象は偏西風の蛇行によること
が原因といわれています。

5月の茨城県つくば市の竜巻、この春先の低温なども
そうですし、この偏西風の蛇行は地球温暖化のためだと
いわれています。

来週は納涼家族会です。親睦委員長の千田さん、佐々
木さんががんばって準備していただいておりますので、
たくさんの方のご出席お願いいたします。

あと、うれしいことに中野ロータリークラブさんが何
名かで出席されるそうです。久々の参加ですので、今後
のことなどいろいろお話ししたいと思います。

◆ 出席報告 (石崎副委員長)

- ・ 出席率 会員27名中(出席免除者1名) 21名 80.76%
- ・ 欠席者 廣濱君、三浦君、佐々木君、鈴木君、
千田(則)君の諸君
- ・ 前々回 (2175回) の修正
メイク・アップ 慶野君 73.07%→76.92%

◆ 幹事報告

○羽昨RCより

- ・ 2012-2013年度事業計画書

創立1968年 (昭和43年) 5月27日 (第2610地区内創立順位19)

例 会：火曜日 12:30 於. いかわ信用金庫本店5 F TEL (0765) 24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL (0765) 22-0715

☆7月度例会案内

	活動内容	例会場
7/24(火)	納涼家族会	海の駅
7/31(火)	卓話担当：加納さん Rの友・情報紹介	信金5階

※7月は第4例会時に「Rの友・情報」を紹介します。

★7月のSAA補助

石崎君・牧野君の諸君です。よろしくお願ひします。

◆委員会報告



ロータリー米山記念
奨学委員長
柴垣尚一君

R I 公認の米山梅吉翁が創設された日本独自の奨学制度です。

外国人留学生に奨学金を授与し、ロータリーの理想とする国際理解と相互親善に努め、世界平和の創造と維持に貢献する。

2610地区より当クラブに目標額として会員一人15,000円（普通寄付金・特別寄付金を含む）の割り当てがきています。

普通寄付金は会員一人6,000円は一般会計予算からみているので残りの分は特別寄付金で補うこととなります。

特別寄付金をまだしていない会員の皆さんには宜しくお願ひいたします。特別寄付金の詳しい内容はクラブ事業計画書に記載しています。米山頼母子講にての寄付でも可です。

外国人留学生（米山留学生）が日本で学んだことを自国にて教えて日本の良さを伝えることによって少なくとも世界平和につながると私は思います。

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 53,000円

◆卓話 「ガバナー補佐として感じたこと」



吉田築夫君

2610地区富山第一分区には8つのクラブがありまして、朝日RCで前のガバナー補佐だった魚津さんがガバナー補佐輩出クラブの順番を書いて次は魚津西RCだと言われ、しかも、その年度の西クラブの会長が同じDNAの森國光君という事で何か縁や関係がある年度という思いで引き受けました。

2610地区には会員が2,600人程おりまして、補佐は9人います。

金沢は大きいのでA、Bと2つあります。

私は8クラブの補佐訪問で各クラブ計4回（補佐訪問、公式訪問同行、進捗状況訪問、最後の挨拶）行ってきました。

たとえば、黒部中央は夜間例会ですし、朝日は例会が始まる前に会員同士が握手をしてから例会が始まります。他のクラブでも握手をしてから始まる場所がありました。

他には、ニコボックスの事です。それは、ニコボックスされた本人が自分でニコの説明を（読み上げ）するという流れでした。それについては訪問して少し心に残るものがありました。しかし、どのクラブも一番困っていることはやはり、会員増強でした。会員が減る一方で大変だという事を実感させられました。

うちのクラブは今年度から宮田さんが入会され、大変嬉しく思います。

ガバナー補佐の最後の仕事としてクラブ報告書を提出するのですが、初め、中間、最後と3回もあります。なかなか難しい設問が多くあり白紙で出されているクラブがたくさんありました。設問だけを見るとロータリークラブとは大変難しいクラブとってしまいます。本来は楽しいクラブであるのですが。

最後に4回も各クラブへ訪問に行く顔なじみになりますし、知り合いもいますのでRC以外の話もさせていただき、そういう意味では良い体験をさせてもらったと思います。また、訪問するクラブの皆さんに大変歓迎して頂きましてありがとうございました。

第2178回例会 7月24日(火)

- ◆点 鐘 横谷 正晴 会長
- ◆司 会 清河 豊 幹事
- ◆ロータリーソング「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト

新川高等学校 校 長 中田 幹雄 様
" 教務主任 浜元 克吉 様
中野R C 会 長 脇田 綱雄 様
" 会長エレクト 入沢 卓也 様
" 幹 事 小林 直人 様
" 社会奉仕委員長 番場 清 様
" 事 務 局 永沢せつ子 様
魚津R C 会 長 野澤 良成 様
" 幹 事 関口 孝子 様
滑川R C 会 長 高緑不二子 様
" 幹 事 黒田 弘 様

◆会長挨拶

皆さんこんばんは。

今日は当クラブの納涼家族会です。

ゲストに新川高校の中田校長様、教務主任の浜元様、魚津ロータリークラブ会長野澤様、幹事の関口様、滑川ロータリークラブ会長高緑様、幹事黒田様、あと嬉しい事に久々中野ロータリークラブより会長脇田様、会長エレクト入沢様、幹事小林様、社会奉仕委員長の番場様、事務局局長永沢様とたくさんのゲストの方においでいただきました。ありがとうございます。

また、会員及び西睦会の皆様、会員家族の皆様本当に暑いなか出席ありがとうございます。

あと今日はもう一つ嬉しいことがあります。会員の廣濱さんとご家族が久々出席されています。

今日の会のセッティングされた親睦委員長の千田さん、委員の方々に感謝申し上げます。

さて、ロータリーの基本は友情です。今日はおおいに飲んで食べ、おおいに語り合って友情の和を広げていただきます。ありがとうございました。

◆新川高等学校校長御挨拶

◆出席報告（石崎委員）

- ・出席率 会員27名中(出席免除者1名) 18名 69.23%
- ・欠席者 畠山君、久津谷君、木下君、三浦君、
宮崎君、大城君、千田(則)君、関君の諸君
- ・前々回(2176回)の修正
メーク・アップ 柴垣君 80.76%→84.61%

◆ニコニコボックス

- ・新川高等学校様：志
- ・中野R C様：志
- ・魚津R C様：志
- ・滑川R C様：志

今週までの合計額 108,000円



魚津西ロータリークラブ納涼家族会

★納涼家族会★

- ・開会の挨拶（司会進行） 千田親睦委員長
- ・乾杯 森 前会長
- ・歓談・食事
- ・閉会の挨拶 原 会長エレクト



第2179回例会 7月31日(火)

◆点 鐘 横谷 正晴 会長

◆司 会 清河 豊 幹事

◆ロータリーソング 「我等の生業」

◆ゲスト

富山第一分区 ガバナー補佐 植木 真人 様

◆ゲスト卓話

張江 和子 様

㊦㊦ ハッピーバースデー ㊦㊦



8月6日
吉 田 君

◆会長挨拶

皆さん、こんにちは。

今日は、ガバナー補佐植木様に来ていただいております。ありがとうございます。あとゲスト卓話で張江様には、よろしくお祈りします。

さて、先日の納涼家族会たくさんの皆様のお出席ありがとうございました。親睦委員会の努力で楽しい会になったと思います。

先週は納涼家族会でしたのでお話しませんでした、7月20日、魚津ロータリークラブの夜間例会に清河幹事とともに、ご挨拶に行っていました。なかなか楽しい会で、とくに感心したのは新入会員とのトークショーです。幹事さんがいろいろ質問していくのですが、新入会員の方がどんな方わかりやすいなと思いました。

いよいよロンドンオリンピックが27日より始まりました。日本勢はなかなか金メダルに届かないようですが活躍を期待しましょう。

さて、オリンピックの聖火の話をごささせていただきますが、近代オリンピックでは1928年のアムステルダムオリンピックが最初に聖火を採用したとのことです。(オリンピックスタジアムの設計に塔を取り入れ、火が燃え続ける)この聖火というアイデアは熱い注目を浴び、オリンピックの象徴として今現在も行われているのです。

聖火リレーは1936年のベルリンオリンピックから始められましたが、ヒトラーはコースの下見として事前に調査団を派遣しましたが、あとの欧州進攻の時このときの調査結果をもとに行ったとも言われています。

◆出席報告 (扇谷委員長)

- ・出席率 会員27名中(出席免除者1名) 20名 76.92%
- ・欠席者 廣濱君、慶野君、牧野君、長田君、千田(則)君、関君の諸君
- ・前々回(2177回)の修正
メイク・アップ なし

◆幹事報告

○朝日RCより

・2012-2013年度事業計画書

○黒部中央RCより

・2012-2013年度事業計画書

○能美RCより

・2012-2013年度事業計画書

☆8月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
8/7(火)	卓話担当：会員増強委員会 皆出席表彰 理事会	信金5階
8/14(火)	お盆につき休会	
8/21(火)	ガバナー公式訪問 魚津・滑川RC合同例会	ホテル グランミラージュ
8/28(火)	卓話担当：三浦君 Rの友・情報紹介	信金5階

※8月は第3例会時に「Rの友・情報」を紹介します。

★8月のSAA補助

鈴木君・千田(則)君の諸君です。よろしくお祈りします。

◆委員会報告

ロータリー情報委員長 鈴木 潮 君

ロータリー情報委員会は広報委員会と雑誌委員会の役割をも担っています。

会員に情報を提供してロータリーの知識と理解を深めてもらうこと、またロータリーの活動を広く社会に知ってもらうことが大切だと考えます。

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 126,000円

◆卓 話 「食の伝承・伝播」



張 江 和 子 様

はじめに

「蓼食う虫も様々」人は食べ物(栄養)摂取して消化・吸収し排泄 新陳代謝(約60億の細胞作り、又壊し、成長・成熟・老い・死を迎える。)違いは遺伝情報・環境・教育
環境の変化(金沢から京都 食文化の変化)魚の文化(鮮度・旬・魚種類)周辺地域から運ばれたもの(鱧・川魚・蛸・縮緬雑魚)鮮度のよい魚汁欠乏 旨味成分
アミノ酸 代替化 昆布+煮干 使用量の増加 不足すれば食品の補足代替化することで無意識の中で生活の安

定・安心・安全を確保

「年寄り殺すに刃物は要らぬ。三度転居すれば、皆死ぬる」故郷を離れてみて、初めて自分の食の原点は何かを確認。(可愛い子供に旅をさせ) 2点の定点

新しい適応 順応 進化

今どんな時代か。学習を 農林水産情報ネットワークの消費者モニターに情報源獲得努力を

政府の取り組み(農林水産省) 食の未来を支える「食料・農業・農村基本計画」目標達成を
近畿農政局 戦略的取り組み「未来につなぐ食育」・「食と農の結びつき」・6次産業創出 京のブランド商品確認制度 品質を厳選した「ものづくりの指標のマークを」

マスコミ等の取り上げ方 日本料理・宇治茶の無形文化遺産登録へ・農業で稼ぐ・T P P参加

1 食の供給状態

食料自給率平成22年度カロリーベース総合39%

32年度50%自給率目標

生産額ベース総合 69%

32年度70%自給率目標

食料自給率昭和40年度カロリーベース 73%

生産額ベース86%

主要先進国中最低の水準(オーストラリア173% カナダ168% アメリカ124% フランス111% ドイツ80%)

食料自給率向上が必要な理由

*食料の安定供給・自国生産能力向上(世界的穀物価格の上昇 投機材料・バイオ燃料・異常事態)

*外国依存拡大が食生活の変化と栄養バランス乱れ
どんな方法が望ましさを作るか

2 望ましい食生活形成作り 外国依存率を下げ、国産食材の消費を図る

自給率の低い作物の生産拡大(個別所得補償制度)

小麦・畜産物・大豆・主食用米等々

3 具体的な府の取り組み

京都府の多様な「食と農」の魅力を掘り起こし、多くの人に伝え、多くの人に現地に足を運んでもらうために、地域の人と一緒に考えて、行動します。
ごはんて生き生きプロジェクト 「食と農」の結びつきプロジェクト 6次産業創出プロジェクト

農林水産省の取り組み

「フード・アクション・ニッポン」 消費者への啓発と意識改革「生産」・「流通」・「消費」のそれぞれの現場での問題を認識し・共有し国産農産物の消費拡大を取り組もう。

例 ご飯を一食食べる時、もう一口食べると、食料自給率が1%向上

月に国産米粉パンを3つ食べると、食料自給率が

1%向上

4 望ましい食生活とは

食生活指導方針は、食事を楽しむ、栄養バランス、無駄のない食生活等10の視点から一人一人の健康増進、生活の質の向上、食料の安定供給確保を図ることを目的として平成12年3月当時の文部・厚生・農林省が策定した。

例 食塩や脂肪は控えめに*適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を

例 京都食育キャラバン隊「地域で食育の大切さを広める」活動

*BMI = 体重(kg) / 身長(m) / 身長(m)

引用資料「aff」食の未来を支える食料自給率
農林水産省2012.5

まとめ

食生活を成り立たせるもの

1 家庭生活に必要な資源から見た取り組み

生活資源(経済・労力・時間)の有無による取り組み

家事労働(食事作りを誰が担うか。どんな方法で。

家族の協力態度・言葉かけ)

家事労働の知識・実践力の学習は このような視点を取り入れていけばもう少し具体化可能(?)

2 食の原点は「味覚形成時期」学童期以前 食を作って与える人の意識・意思重要 家庭教育「模倣」からの学び

亡き母の 言いし言葉を そのままに

こけしを抱きて 言い聞かせおろし 永井 隆
やって見せ 言うて聞かせて やらせて見せて

誉めてやらねば 人は動かじ 五十六

見本の大切さ、心しての言葉かけ、繰り返しドリル、体験実験学習、承認の喜び、定着、親教育・生涯学習の場と機会を(心理学 経験や感覚レベルで成長する自己効力感の体験)

3 『食の終焉』ポール・ロバーツ著 ダイアモンド社を読んで

日本とアメリカの「食の危機感の違い」想定外を想定する。グローバル経済がもたらすもうひとつの危機対応

食システム崩壊の影響を最低限に食い止める策を

考慮点 地域重視の食システム 地域密着型 地域充足型 青の革命(海からのタンパク源)

「食」を自分の手に(消費者の自己責任)「食は人間と物質界と自然界を繋ぐその緒の役割」食システムの危機を受身で待つのではなく自分で解決を(アリとキリギリス)

伝承は縦の継承(継続は力なり) かぶらすし

伝播は横の広がり(知識は力なり) 温故知新

塩麴(発酵食文化を支える麴の多様な利用を)